

最低賃金 30年代半ばに1500円に!?

岸田首相は、最低賃金について「2030年代半ばまでに全国平均が1500円になることを目指す」と表明したようです。物価高で消費が落ちている中、賃上げを行うことによって内需主導の経済転換への土台を作ろうということですね。

なお、賃上げに打撃を受ける中小企業においては、生産性の向上に向けて省人化や省力化投資への支援等、抜本強化を図り、原資を確保しやすくなるよう価格転嫁を促す指針を年内に策定するとのことでした。

昔は時給600円、700円の時代がありましたが、ついに1000円を超えたと思ったら、次は1500円が視野に入ってきました。

今後、会社の人件費は必然的に上がっていきます。もちろん、消費が促される期待もありますが、会社としては今まで以上の工夫や新たな取り組みをしていく努力が求められそうですね。



メールマガジン配信希望の方は下記のメールアドレスまでご連絡くださいませ。

〒631-0076

奈良市富雄北3-20-33-306

(有)ムシマル労務サービス

マツムラ社労士事務所

TEL 0742-47-5222

FAX 0742-47-5527

<http://www.musimaru.com/>

E-mail: musimaru@kcn.ne.jp